

平成 25 年 12 月 24 日

日常生活圏域ニーズ調査
介護保険総合データベース送信ファイル
インタフェース仕様書

【参考資料】

参考資料1 介護保険総合データベース送信用回答ファイル インタフェース仕様書

参考資料2 介護保険総合データベース送信用評価結果ファイル インタフェース仕様書

厚生労働省 老人保健課

ここでは、「生活支援ソフト」または同ソフトに準拠する「その他ソフト」から、共通型式で出力される（共通型式のファイル形式で出力される必要がある）、介護保険総合データベース（以下介護保険総合DBと記載）送信用の2種類の出力CSVファイルのインタフェース仕様について説明する。

参考資料1として「介護保険総合データベース送信用回答ファイル インタフェース仕様書」、参考資料2として「介護保険総合データベース送信用評価結果ファイル インタフェース仕様書」を示す。

なおインタフェース仕様書の各項目内容については、次表の「参考資料1 介護保険総合DB送信用回答ファイル インタフェース仕様書 項目説明」、及び「参考資料2 介護保険総合DB送信用評価結果ファイル インタフェース仕様書 項目説明」を参照のこと。

介護保険総合DBへの送信項目選定の考え方の主なポイントは、以下のとおり。

- ①保険者番号（6桁）と被保険者番号（10桁）及び地区CD（コード）・地区名称は必須項目とする。（被保険者番号は送信データ作成時に管理番号に暗号化される）
- ②氏名や住所等の個人情報は送信対象外とする。
- ③回答ファイルと評価結果ファイルの2種類の出力ファイルを送信する。

以下に、介護保険総合DB送信用出力CSVファイルの詳細仕様を示す。

- ① 1行目は、データ宣言行（データの種別とバージョン）とし、回答ファイルは「SEIKATSU_ANS_1.0.0」、評価結果ファイルは「SEIKATSU_RET_1.0.0」とする。
- ② 2行目以降の各カラムとしては、ヘッダ行はなし、1カラム目は保険者番号（半角数字6桁固定）、2カラム目はSEQ（10桁）、3カラム目は被保険者番号（半角英数字10桁固定）、4カラム目以降は生活支援ソフト各項目とする。
- ③文字コードは「Shift_JIS」とする。
- ④改行コードは「<CR><LF>」とする。
- ⑤各カラムは、ダブルクォートで囲むものとする。
- ⑥各カラムの値には、ダブルクォートや改行は含まないものとする。
- ⑦回答ファイルにおいて、保険者の運用により調査を実施しない調査項目が発生する場合や、高齢者により記載されない調査項目が発生する場合（未記入の場合）については、当該出力データを「空欄(Null)」とすること。
- ⑧介護保険総合DBへの送信データの品質を確保するため、データの必須・属性・桁数等のインタフェース仕様を満たさないデータが送信されないよう、生活支援ソフト及びその他ソフト側で、入力時及びCSVファイル出力時にエラーチェック機能（桁数チェック、正当性チェック、範囲チェック等）を設けること。なお、回答ファイルにおいて、上記⑧の通り調査項目データが「空欄(null)」となる場合を鑑み、桁数チェック及び範囲チェックの際に「空欄(null)」も許すこと。

参考資料 1 介護保険総合データベース送信用回答ファイル インタフェース仕様書 項目説明

No	項目名	項目説明等
1	介護保険総合データベース送信項目 通番	生活支援ソフトまたはその他ソフトから出力される介護保険総合データベース向け送信項目の通番。
2	介護保険総合データベース送信項目 エクセル列番号	生活支援ソフトから出力される介護保険総合データベース向け送信項目のエクセル列番号。
3	問番号	調査項目の問番号。
4	問番号 枝番号	調査項目の問番号の枝番号。
5	複数選択項目の選択肢番号	調査項目が複数選択項目の場合の選択肢番号。各選択肢ごとに別項目として出力される。
6	生活支援ソフト 出力項目名	生活支援ソフトまたはその他ソフトからの出力項目の名称。
7	必須	介護保険総合データベース向け送信項目で必須項目について「○」を記載。
8	属性	データの属性(9:数字、X:英数字等)を記載。
9	桁数	データの最大桁数を記載。
10	コード	各項目データが選択肢等のコードデータである場合に「○」を記載。
11	備考	コードデータの種類等、データの属性や種類に関する内容を記載。
12	生活支援ソフト側エラーチェック	介護保険総合DBへの送信データの品質を確保するため、生活支援ソフトまたはその他ソフト側でエラーチェックを実施する項目に「○」を記載。
13	生活支援ソフト側エラーチェック内容	エラーチェック実施項目のエラーチェック内容(桁数チェック、正当性チェック、範囲チェック等)を記載。
14	選択肢のコード値	調査項目の選択肢のコード値。
15	選択肢の名称	調査項目の選択肢名称。

参考資料 2 介護保険総合データベース送信用評価結果ファイル インタフェース仕様書 項目説明

No	項目名	項目説明等
1	介護保険総合データベース送信項目 通番	生活支援ソフトまたはその他ソフトから出力される介護保険総合データベース向け送信項目の通番。
2	介護保険総合データベース送信項目 エクセル列番号	生活支援ソフトから出力される介護保険総合データベース向け送信項目のエクセル列番号。
3	生活支援ソフト 評価結果出力項目	生活支援ソフトからの評価結果出力項目の名称。
4	必須	介護保険総合データベース向け送信項目で必須項目について「○」を記載。
5	属性	データの属性(9:数字、X:英数字等)を記載。
6	桁数	データの最大桁数を記載。
7	コード	各項目データが評価結果区分等のコードデータである場合に「○」を記載。
8	備考	コードデータの種類等、データの属性や種類に関する内容を記載。
9	生活支援ソフト側エラーチェック	介護保険総合DBへの送信データの品質を確保するため、生活支援ソフトまたはその他ソフト側でエラーチェックを実施する項目に「○」を記載。
10	生活支援ソフト側エラーチェック内容	エラーチェック実施項目のエラーチェック内容(桁数チェック、正当性チェック、範囲チェック等)を記載。
11	評価結果データコード値	評価結果データのコード値。
12	評価結果データコード名称	評価結果データの名称。